

令和元年9月吉日

後援団体各位

茨城県介護支援専門員協会水戸地区会
会 長 松 葉 健

『映画ケアニンを鑑賞して、在宅医療・介護・看取りについて語る会』
アンコール上映会の開催について

拝啓 秋冷の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろから当協会の活動に対しご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

『映画ケアニンを鑑賞して、在宅医療・介護・看取りについて語る会』は、令和元年6月22日から7月14日の間の土日に、水戸市内16中学校区において実施いたしました。

おかげさまで、一般参加者650名、運営委員179名（重複あり）という盛会の中で前期の事業を終了することができました。

当初の計画では10月26日の「（後期）在宅医療・介護・看取りについて語る会」をもって、全事業終了の予定でした。

しかしながら、「映画を見逃した」「家族友人にも見せたかった」「もう一度見たい」という問い合わせが多数ある中で、この度、『映画ケアニンを鑑賞して、在宅医療・介護・看取りについて語る会』アンコール上映会を下記の内容で開催する運びとなりました。

つきましては、アンコール上映会のチラシを同封いたしますので、貴会においてご案内いただければ幸いです。

記

【『映画ケアニンを鑑賞して、在宅医療・介護・看取りについて語る会』アンコール上映会】

日 時 令和元年10月14日（月）体育の日 14：00～17：00
会 場 茨城県立歴史館講堂（200名）

【（後期）在宅医療・介護・看取りについて語る会】

日 時 令和元年10月26日（土） 9：30～12：00
会 場 水戸市社会福祉協議会ボランティア会館MIOS 以上

【問い合わせ】

一般社団法人 茨城県介護支援専門員協会 担当 井上/若松
〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 茨城県総合福祉会館3階
電話 029-243-6261 fax029-243-6264
井上貴志携帯/090-9367-0853

映画ケアニンを鑑賞して 在宅医療・介護・看取り を語る会

**参加
無料**

**アンコール
上映決定!!**
令和元年10月14日
(月) 14:00~
県立歴史館講堂

認知症で
人生終わりに
なるとして
僕がさせない。

【後援】

- 水戸市医師会
- 水戸市歯科医師会
- 茨城県看護協会
- 水戸薬剤師会
- 茨城県栄養士会
- 茨城県社会福祉士会
- 茨城県介護福祉士会
- 水戸市社会福祉協議会
- 茨城県精神保健福祉士会
- 茨城県ソーシャルワーカー協会
- 茨城県訪問マッサージ連絡会
- 茨城県歯科衛生士会水戸支部
- 茨城県リハビリテーション専門職協会
- 茨城県訪問看護ステーション協議会
- 茨城県地域密着型介護サービス協議会
- 水戸たけがき病院のじのえぷろん

水戸市協働事業

【主催】茨城県介護支援専門員協会水戸地区会

- 障害福祉状一紙又事業所たけのこ
- 茨城県老人福祉施設協議会
- 茨城県介護老人保健施設協会
- 水戸在宅ケアネットワーク
- 茨城県訪問介護協議会
- キャンパス水戸
- ナルク水戸
- おたがいさま水戸
(順不同)

ケアニン

～あなたでよかった～

戸塚純貴 松本若菜 山崎 一/水野久美
藤原令子 菜葉菜 小市慢太郎
監督：鈴木浩介 主題歌：香川裕光「星降る夜に」

原案：エグゼクティブプロデューサー：山田秀幸 プロデューサー：吉見美樹/金谷宏明/長田安正/柳瀬太郎 共同プロデューサー：小川明日香 特別協力：加藤忠相(あおいけあ)
脚本：藤村雅也 音楽：池藤 浩二 撮影：西村敏彦 照明：宮尾康史 美術：装飾：都留啓亮 録音：垂松健太郎 編集：佐野由里子 技術プロデュース：瀬戸正俊 監製補：綾部真弥
ラインプロデューサー：平山高志 介護指導：鈴木 真 スタylist：田中トモコ/網野正和 ヘアメイク：満山直美
特別協賛：UAセンター日本介護クラウドユニオン/東北福祉大学/株式会社アズパートナーズ/株式会社エス・エム・エス/株式会社長谷工シニアホールディングス/株式会社デジタル・スタンダード
製作：【ケアニン】製作委員会(ワンダーラボ/ライブラリー/コンテンツサービス/アピクチャーズ/ユナイテッドエンタテインメント/HORIZON/エイチエムプラス)
配給：宣伝：ユナイテッドエンタテインメント ©2017「ケアニン」製作委員会 2017年/日本/カラー/ステレオ/105分
推薦：厚生労働省 神奈川県 文部科学省特別選定作品 後援：藤沢市
www.cafe-movie.com



まずは、想いを知るところから始めたい…。
「一番身近な家族であっても、なかなか自分の最期について話す機会がない」
地域の方々から、そんなお声を頂きました。

再度映画を観たいというアンコールにお応えしてお届けいたします

ケアニン = 介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人

「こんな仕事やってくれるか、どこにやりがいがあるんだ、どこが楽しんだ…ってか？」

「思っていないけど」

「えっ、思わないの？ スゲエな。俺なんか新人の頃は毎日思っていたけどな。少しは思うだろ？」

「…まあ、少しは」

「人間だから当然だよ。こっちも人間なら、向こうも人間。感情もあればプライドもあるんだ」



「人のために仕事がしたい」「じいちゃん ばあちゃんが好きだから」そんな理由で介護の仕事を目指す若者を、私たちは「介護ってすてきだぞ」って迎えることができているだろうか？ 大森圭が誇りをもって働ける現場をつくらう！

株式会社あおいけあ 代表取締役 加藤忠相

介護職員が30万人不足！

高齢化がピークを迎える2025年に(厚労省調べ)

“3K(きつい、汚い、危険)”のイメージが先行する介護の仕事は、肉体的にも精神的にも厳しい仕事です。しかしこれほど人と本音で向き合え、感動する仕事はないと長く介護に携わる人たちは胸を張ります。映画「ケアニン～あなたでよかった～」は、神奈川県藤沢市に実在する「おたがいさん(株式会社あおいけあ)」をはじめとする30ヶ所もの介護福祉施設や専門学校、関連団体に取材のご協力をいただき、シナリオを一つずつ積み上げていきました。この作品には介護という仕事を通して働くことの意味や、人と人、地域との繋がりの尊さが描かれており、この中で語られているセリフの一つ一つが全て実際の現場からとった生きた言葉なのです。そうした日々の介護現場で働く人たちの姿を追いかけていくうちに自然と、人生に前向きになれる心温まる感動のストーリーが出来上がりました。それが本作「ケアニン～あなたでよかった～」です。

「…**経験**を積むんだよ。それが身になる。現場に慣れて人間と向き合えるようになったら、圭も一人前の**ケアニン**だ」



認知症で人生終わりになんて、僕がさせない――。

大森圭(男性・21)は新人の介護福祉士。高校卒業後、これといってやりたいことがなかった圭は、漠然とした理由で介護の専門学校へ入学。卒業後、圭が働くことになったのは、郊外にある小規模介護施設。高齢者たちと上手くコミュニケーションが取れず、悩む日々が続くなか、圭が初めてメインで担当をすることになったのは、認知症の星川敬子79歳。試行錯誤しながらも、先輩スタッフたちの協力もあり、少しずつ敬子との関係性を深めていく。「なんとなく」で始めた介護の仕事に、いつしか本気で向き合うようになっていく圭だったが…

「けあにん…？」

「**ケアする人間**。介護福祉士って言うと**堅くるしい**じゃん」



参加申込書	日	時	会場	希望人数
アンコール上映会 と語る会	10月14日(月) 体育の日	14:00~17:00	茨城県立歴史館 講堂	
(後期)語る会 進行: 関原宏昭氏	10月26日(土)	9:30~12:00	水戸市社会福祉協議会 ボランティア会館MIOS	

【お申込み】 029-305-6114までファックスでお申し込みになるか、090-9367-0853(井上)までお電話で申し込みください。

【問い合わせ】 茨城県介護支援専門員協会水戸地区会 井上貴志 TEL 090-9367-0853